



高田小だより

R4. 12月6日発行
文責：校長

6年生修学旅行

核兵器の脅威と平和の尊さを学ぶ

11月27日(日)から二日間、6年生は長崎へ修学旅行に行きました。6月に予定したものでしたが、新型コロナウイルスの感染が拡大中で、延期して行ったものです。感染がまだ全国的にも落ち着かない状況で、保護者の皆様はご心配だったことと思います。しかし、旅行者等との綿密な打ち合わせと関係施設等のご協力もあって欠席者はもちろん当日も体調を崩す子供も出ず、無事に終えることができました。

謝いたします。さて、旅先では二日間ともとてもよい天気でした。平和祈念公園で、心のこもった平和宣言を行い、地元のボランティアで結成された「さるくガイド」さんの指導で、約二時間のフィールドワークに出かけました。子供たちはボランティアガイドさんの説明に真剣に耳をかたむけ見学地をしっかりと見て回って、感心しました。陽もずいぶん傾いたところでしたが、出島資料館で見学をした後、宿泊先のホテル矢太樓に向かいました。ホテルでは夕食は食べきれないほどの料理がテーブルに並んでいて、おいしそうに食べていました。夕食から就寝までの時間が短かったのですが、サッカーワールドカップの予選リーグ(コスタリカ戦)が行われており、観戦する子供たちも多かったようです。友達とずっとおしゃべりしていたかったと思います。さすが高田小の子供たち、10時過ぎにはほとんどの部屋で



平和記念公園でガイドさんと対面する話を子供たち



ハウステンボスでは楽しくグループ行動しました

静かに過ごせていました。二日目も快晴の中、ハウステンボスでの自由行動でした。あらかじめアトラクションを回る計画は立てていたようですが、人気の場所では順番待ちの時間が長く、予定通りに回ることができなかつたようです。一泊二日の修学旅行でしたが、子どもたちにとってはとても楽しい思い出になったようです。二日間、子供たちの様子を見ていましたが、見学の態度はとも立派で、全ての行動に約束やルールをしっかりと守っていて感心しました。みんなが思い出に残る修学旅行になったようです。

学級だより等でご存知の通り、今年から2時間目が終了した後(5分間)の休み時間にRunRunタイム(5分間)を始めました。昨年からの従来の「持久走大会」の名称を

変更し「チャレンジ走」とした理由については、『他人との競走(争)に主眼を置いたものでなく、無理のない一定の速さ(ペース)で走り続けることで、気持ちよく走る楽しさを味わわせ、呼吸循環器系の発達を促し、全身持久力を養う事を目的としたからです。

マイペースでRunRunタイム

ただ、普段走り慣れない子供たちにとって、自分のペースをつかむこと自体が難しいことも考えられます。そこで、まずは5分間楽に走り続ける力を身に付けることと、走った距離(周回)を記録に残し、がんばりを見える化することで、向上心の育成も

狙いました。この取り組みを始めて2週間になりますが、子供たちは毎回楽しく走ることができています。これを機会に、天気が良い休日等は、河川敷などでお子様と一緒にゆっくり走られるのも良いのではないのでしょうか。



RunRunタイムで楽しく走る子供たち

学力・学習状況調査始まる

12月6日(火)から二日間、市及び県学力・学習状況調査が始まりました。この調査は、子供たちの学力や学習状況及び教師の学力向上への取組状況等について調査・分析することにより、教育施策の成果と課題を検証し、新たな取組の方向性を明らかにする等を目的としたものです。今年度から新たに2年生もこの調査を受けることになり、6年生は社会と理科も加わり4教科となりました。学校で行う単元テストとは異なり、国語では長文を読んで答えたり、算数では解き方の説明を求められるな



初めての学力調査を受ける2年生

